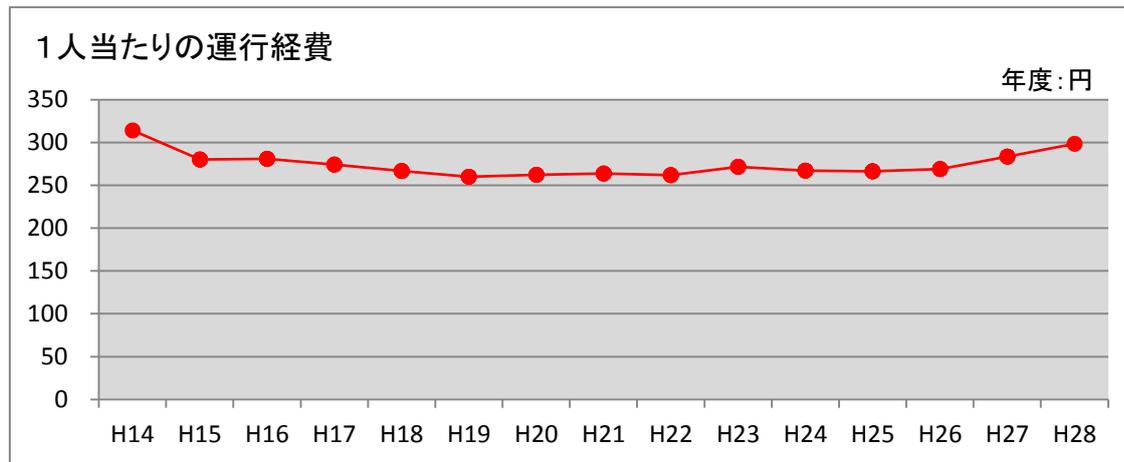


運賃改正（案）に関する資料

1. 運行経費

運賃 (円)	運行経費 (円)	÷	利用者数 (人)	=	1人当たりの運行経費 (円)
100円	82,523,000	÷	273,187	=	302

※運行経費、利用者数は H28 年度の実績による



※年度バス利用者数に基づく

路線別実績

千円以下、四捨五入

路線	運行経費 (円)	利用者数 (人)	1人当たりの運行経費 (円)
東循環	17,867,000	68,523	261
西循環	22,564,000	102,923	219
東西循環 (外回り)	21,656,000	39,458	549
東西循環 (内回り)	20,437,000	62,283	328

※H28 年度実績に基づく

2. 収支試算

※料金を 150 円～350 円（均一制）に設定した場合のシミュレーション

※利用者数は、料金やルートの見直し等により 20%減少すると想定

※実際には、無料の利用者もいることから、利用者数×運賃≠運行収入とはならない。
そのため、運行収入の算出方法は平成 28 年度の実績に基づき次のとおりとする。

○運行収入＝利用者×約 87.6%×運賃（平成 28 年度実績）

（1）現状（H28年度）のシミュレーション

千円以下、四捨五入

運賃（円）	運行経費（円） A	運行収入（円） B	委託料（円） (A-B)	利用者数（人） C	1人当たりの運行経費（円/人） A/C
100	82,523,000	23,923,000	58,600,000	273,187	302
150	82,523,000	28,708,000	53,815,000	218,550 (現行より 20%減)	377
200	82,523,000	38,277,000	44,246,000		
300	82,523,000	57,415,000	25,108,000		
350	82,523,000	66,984,000	15,539,000		

○市及び利用者負担額

1人当たりの運行経費（円）	利用者負担額（運賃:円）	大小	市負担額（円）	差額（円）	備考
302	100	<	202	102	
377	150	<	227	77	
377	200	>	177	23	差額が少ない
377	300	>	77	223	
377	350	>	22	328	

※運賃を 200 円とした場合、市の負担が利用者の負担額より少なくなるが、その差額はその他の金額に比べて少なく、市及び利用者がおおよそ半分の負担となる。

(2) 10年度（H38年度）のシミュレーション（参考）

※運行経費は過去5年の上昇率を勘案し、毎年2%上昇すると想定

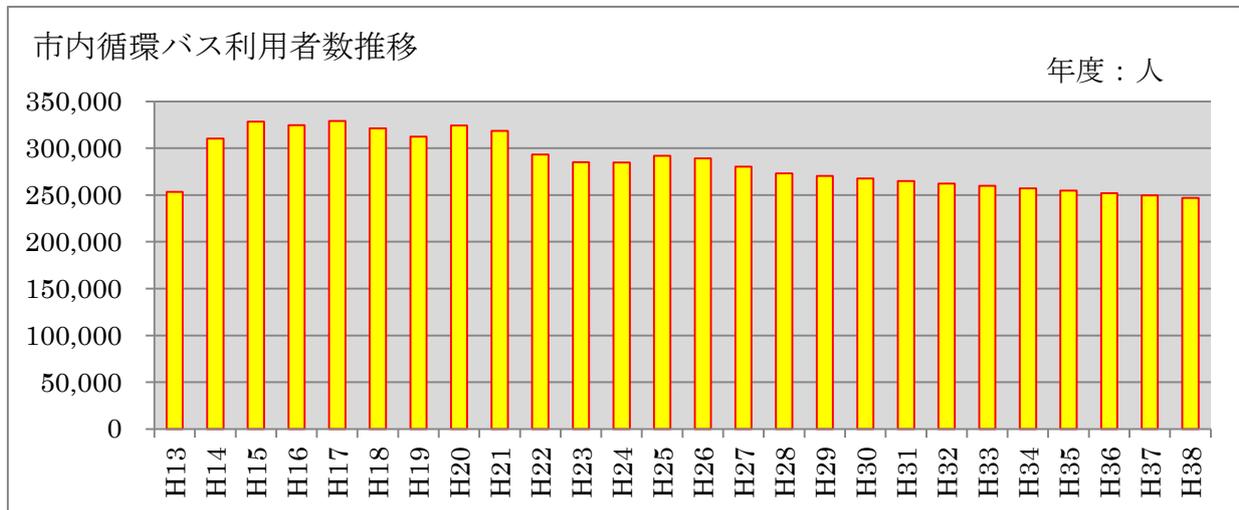
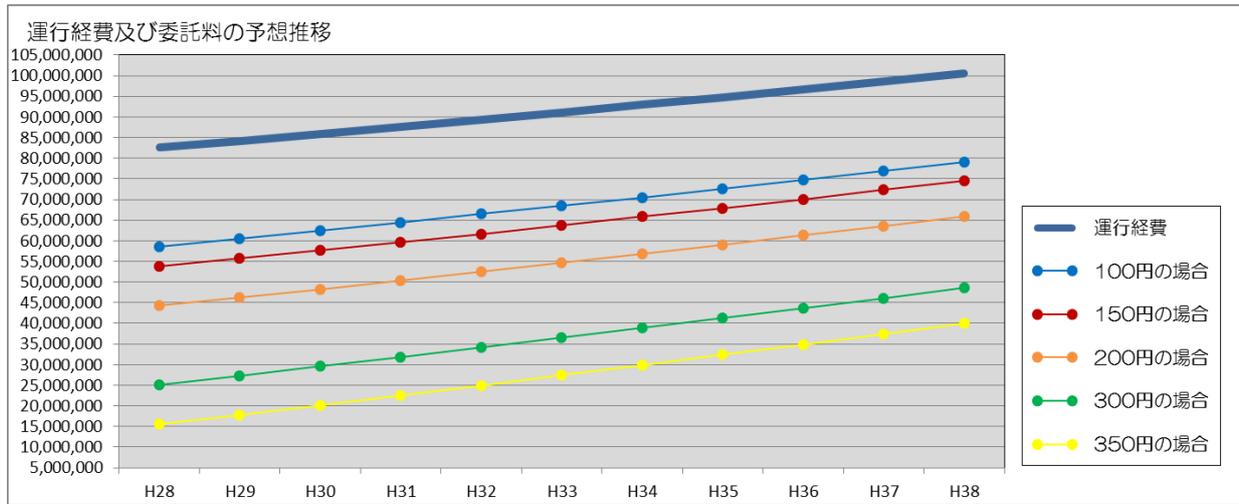
※利用者数は過去5年の減少率を勘案し、毎年1%減少すると想定

運賃（円）	運行経費（円） A	運行収入（円） B	委託料（円） (A-B)	利用者数（人） C	1人当たりの運行経費（円/人） A/C
100	100,593,000	21,635,000	78,958,000	247,065	407
150	100,593,000	25,963,000	74,630,000	197,652 (現行より20%減)	508
200	100,593,000	34,617,000	65,976,000		
300	100,593,000	51,925,000	48,668,000		
350	100,593,000	60,579,000	40,014,000		

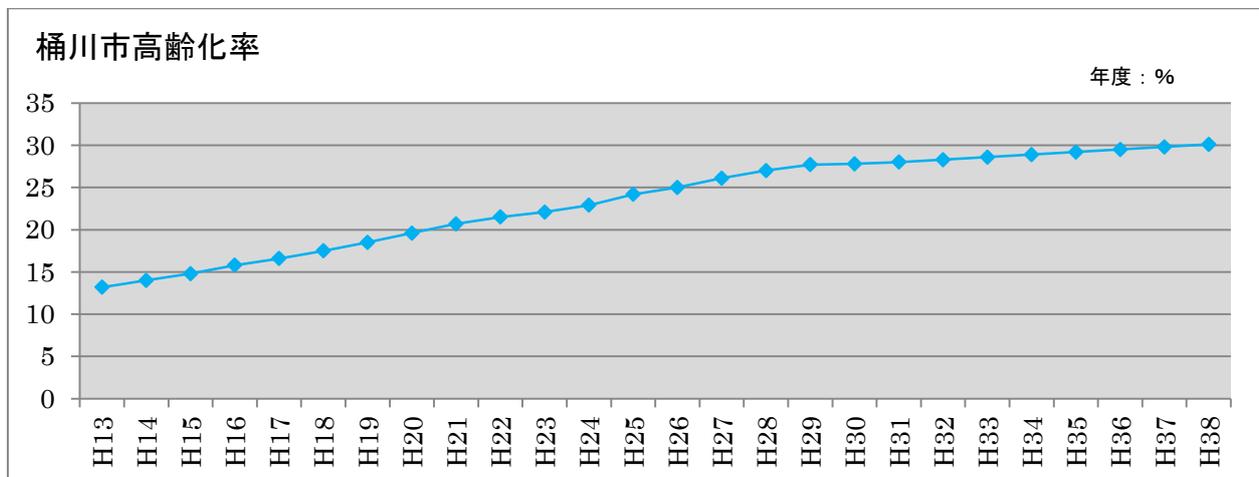
〇市及び利用者負担額（参考）

1人当たりの運行経費（円）	利用者負担額（運賃:円）	大小	市負担額（円）	差額（円）	備考
407	100	<	307	207	
508	150	<	358	208	
508	200	<	308	108	
508	300	>	208	92	差額が少ない
508	350	>	158	192	

※あくまで、運行経費、運行収入、利用者数を想定した中でのシミュレーションであるが、10年後は1人あたりの運行経費は500円以上となる。



※年度バス利用者数に基づく



※桶川市人口ビジョンに基づく